

秋晴れの、まさに運動会日和の下で、無事に行うことができました。思い切り身体を動かして楽しむ運動会をきっかけに、身体を動かす楽しさに気づいた子どもたちも多くいて、運動会前後からドロケイや氷オニが盛んに行われるようになってきました。

運動会は、子どもたちの成長を改めて感じる機会であると同時に、これからの成長が楽しみになる機会でもあります。子どもたち自身も運動会を経験することで、さらに自信をもって園生活を楽しんでいる様子が見て取れます。

今回のこどもニュースは、運動会アンケート編です。お忙しい中アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。皆さんからのアンケートを読んで、運動会を振り返っていきます！



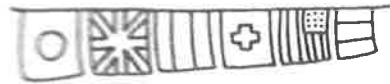
★にじぐみのおうちの方より

- ・親としてはもう少し踊って欲しかったな、大きくお返事ができると良かったな等思う事は色々ありますが、お友達と関わっている姿やお兄ちゃんおねえちゃんがしっかり競技に取り組む姿、応援するお友達、子どもに負けず素晴らしいダンスをしている先生等、観ていることからもとても楽しい時間を過ごすことができました。
- ・自宅に帰宅し、再度運動会のビデオを見ていると「できたんだよ！」「どうぶつうんどうかい できるんだよ」と目を輝かせ、満面の笑みの姿。今まで「できない」とばかり言っていたのですが、少し自信がついた様子でした。成長ですね。
- ・名前を呼ばれた時の元気いっぱいの「はい!!」は楽しさと嬉しさと自信にあふれていて、これからきっとたくさんのことを経験していくことと思いますが、3歳の小さい身体での精一杯の「はい!!」で、胸が熱くなりました。
- ・夜寝る前に「あー運動会楽しかった！運動会してくれてありがとうって先生に言いたい！」と娘の口からきいたとき、この機会が本当にありがたいと思いました。

★年少さんのおうちの方より

- ・また息子は年長さんに買ったメダルをとっても誇らしそうに持っていて、「いつか年長さん達みたいに早く走れて、優しいお兄ちゃんになる！」と目標を持つことができました。よくある運動会ではなく、沢山の方々の愛を感じる事が出来た運動会に参加





出来て親子共々幸せです♡

- チーム名を子どもたちに相談して決めさせてくれたり、よーいドンゴールでは先生からぎゅうっとしてもらえたり……自主性を重んじる園の考え方や愛を感じる事が出来ました。
- 運動会の数週間前から「年長さん年中さんがはしるのを応援するんだよ!!」と興奮気味に教えてくれたので、本人も練習時ふまえとても楽しめた運動会だったと思います。
- 娘のささいな言葉「年長さん今日もリレーやってたよ。今日は〇組さんが勝ったんだよ」「〇〇くんめっちゃ足速いよ」が2年後に繋がるんだよなあ。しっかり見て学んで、気持ち膨らませているなと感じました。

★年中さんのおうちの方より

- 年少の時は“まずはみんなと同じことをする”という状態だったのが“負けたくやしい、勝つためにはどうすればいいのか”というところに考えが至っていることにも驚きました。個人競技だけでなくチームで勝つために協力するチームワークも自然と身に付いていて、とても嬉しく思いました。
- 運動会の練習があった日には、家で楽しそうに、時に本当に悔しそうに話をしてくれました。どうしたら勝てるかを娘なりに考えて、スタートの練習を毎日のように繰り返していました。当日1位はとれず…、でも「1位はとれなくてくやしかったけど、頑張ったからイイんだ!」と何だか自信に満ち溢れた顔を見せてくれました。「来年はリレーでチームが勝てるように頑張る!」と今からはりきっています。
- かけっこでは、4番だったのを悔しく思い、家に帰ってから走る練習をしたいと言っていました。悔しいという気持ちを知り、自ら来年へ向けて頑張ろうとする姿に成長を感じました。
- 来年のリレーはもちろん楽しみ&ドキドキするのですが、お手伝いの係は何を選ぶのかな?というところも楽しみです。



★年長さんのおうちの方より

- 2年前の運動会で年長さんの姿に感動し「2年後娘はこのようになっているの?!」と想像もできなかったのですが、表現も、仕事や役割にあたる姿も、クラスの友だちとバトンを繋ぐ真剣な顔も、名実ともに“年長さん”なんだなと嬉しく思いました。



バトンを繋ぐ真剣な顔も、名実ともに“年長さん”なんだなと嬉しく思いました。

- 当日までの数々のドラマに涙を流しながら子どもの成長を感じ、当日また涙腺が…。自分の子だけでなく、クラスのお友だちの事、他クラスのお友だちの事、たくさんの思いの中素晴らしい成長をそれぞれにさせていただいていることがとてもよく分かる行事でした。年長さんのリレーは自主性が育まれ、仲間を信じ、チームワークというものを知り、本当に多くの事を学ぶことを知りました。
- 年長さんが張り切って仕事をする姿に感動しました。これまでの年長さんから受けた恩や愛を自分たちも年下の子達に注ぐ姿がステキでした。
- どの子も友だちのがんばりを認め合っているあたたかい雰囲気伝わってきて、すごく感動しました（涙）
- できないけどがんばる！そういう姿がそれぞれ違うけれど、年長スペシャルで今までやってきたことを精一杯発揮する気持ちはみんな一緒に感動しました。今、自分でできる最大限を考え行動して、失敗や成功を積み重ねること、これからも大切にしたいです。



★その他いろいろ

- 昨年度末休園が決まってから、当たり前前の日常が送れる幸せを思い知りました。運動会準備に参加して、子ども達と石拾いをしたり、万国旗を飾るお手伝いをしたり、子ども達も運動会ごっこや準備をして、当日も無事に運動会ができたこと、当たり前前の日常を送れることがとても貴重で幸せに感じられて、うれしい一日でした。
- 異年齢の子ども達の成長も愛おしいのは、縦割り&送迎の金城学院幼稚園の醍醐味だなあと、今年も感じることができました。
- 見せるための運動会ではなく、遊びの延長にある運動会で普段の様子も見られて嬉しかったです。
- 運動会の参加人数も2人まででしたが、適度に空間があり見やすかったです。
- お祈りをしているときにスマホのシャッター音が聞こえてくるのは残念な気持ちになりました。
- 年中さん、年少さんのお母さんから写真もたくさんいただいて、それもこの幼稚園の素晴らしいところだと思います。
- 今年は感染対策で親子競技がありませんでしたが、時間と内容がコンパクトになった分、子ども達が無理なく最後まで集中して参加することができて、良かったなと思ひ





ました。

- 縦割りのいいところで、共に育ってきたからこそ自分の子どもの成長だけでなく、他の子の成長も一緒になって喜べる素晴らしさをまた改めて感じました。
- 周りの保護者の方々が我が子だけでなくすべての子どもに熱い応援をおくっていて、とっても温かい気持ちになりました。

今年度はコロナ禍において、例年と全く同じという形ではありませんでしたが、お天気にも恵まれ運動会を無事に開催することができ本当に良かったです。蜜を避ける為、やむなく人数制限をさせていただきましたが、おうちの方たちのご理解があり、特に混乱もなくおうちの方同士譲り合いながら、密にならずに見ていただけたことに感謝致します。年齢に応じた子ども達の成長や、縦割り保育の良さを感じていただけたことは本当に嬉しく思います。我が子だけでなく子ども達の成長を互いに喜び合えること、協力し合えるおうちの方同士の繋がりなどなど、アンケートからたくさん心温まるお話を読ませていただきました。

来年度も子ども達、おうちの方たちと素晴らしい運動会となるよう、このアンケートを参考にしていきたいと思います。みなさんありがとうございました。そしてお疲れさまでした。



<園より 年中児玉入れにて>

玉入れ後に行った、お片づけ競争で赤チームと白チームが片付けるカゴの場所をいつも練習していた位置とは逆にアナウンスしてしまいました。その為当日アナウンスを良く聞いていた子どもの動きと、練習通りに動いた子どもの動きが混ざって、混乱を起こしてしまいました。

後日学年別あつまりの時間に、子ども達に事情をはなし、保育者のミスがあったことを謝りました。そして、「どう思ったか」「どうしたらよかったか」など子ども達と一緒に話合う時を持ちました。最後に今までやってきた方法で再度玉入れとお片づけ競争を行いました。

子ども達を混乱させてしまい申し訳ありませんでした。反省し、同じことが起こらないよう努めたいと思います。

